

## 題材名 家庭科バッグを作ろう

対象学年 一学年

学習の流れ

- ・一学年最初（ガイダンス終了後）の「私たちの衣生活」分野の学習として取り入れる。
- ・家庭科バッグの使用目的（学習ノート、ファイル、教科書、（裁縫用具）、をまとめて入れ授業の際に持ち運びやすくする）とデザインのアレンジの仕方について触れる。
- ・製作を進める中で手入れに関わる知識と基礎技能を身につける。

題材の持つ価値

- ① 3回ミシンで、直線縫いをするだけで、バッグ形になるため、最初の題材として気軽に取り組める。小学校段階でどこまでミシンが扱えるか把握するのにも適する。
- ② ミシン縫いをした部分は裏返してしまうので、きせをかけてしまうと縫い目が目立たず、美しい仕上がりに見せることができるため、満足感が大きい。
- ③ 衣服の補修に関わる身につけさせる技能（まつり縫い・スナップつけ）を取り入れて製作させることができる。
- ④ 繊維の種類によってアイロンのかけ方が異なることなど（表示を含めて）についても学ぶことができる。
- ⑤ 製作直後から3学年終了までずっと使うので、丈夫に作る必要がある。
- ⑥ 技家ノートが入る大きさなので、ファイルが痛みにくく、物を大切に扱うことや、インナーバッグとして扱うことで整理整頓の方法を学ぶことができる。

製作の実際



返し口を斜めに縫い込んで  
ミシン縫いで止めてみました。



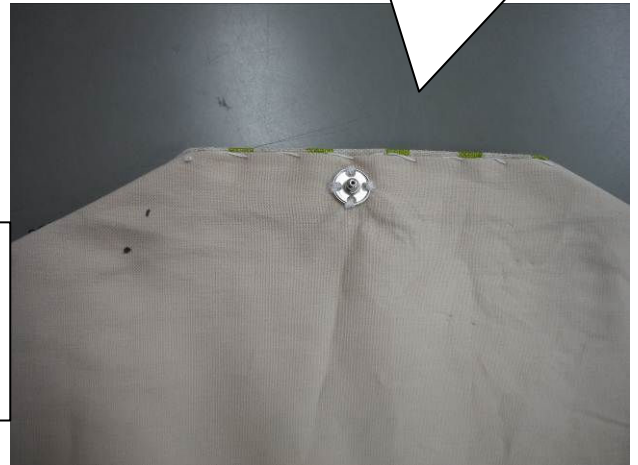
返し口をそのままの形で縫い  
止めました。チェック柄に合  
わせて縫うので、ミシンの苦  
手な生徒もまっすぐきれいに  
縫えてできあがりに満足で  
す。



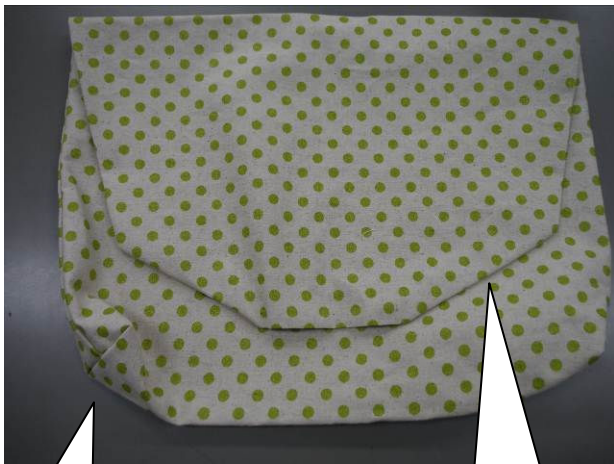


最初にひもをはさ  
んで縫うと中をボ  
タンでとめられる。

返し口をまつり縫いで縫い止める。表にでない  
ように縫う。スナップボタン (凸) をつける。



ふたのうえに飾りボタンをつけてアクセ  
ントにしてみました。



バッグの角を三角  
に折り返してまち  
をつけます。

ふた部分を丸く仕上  
げようと頑張って曲  
線を縫いました。





学習ノートを入れて、教科書入れて、  
凹スナップの付け位置を確認して仕  
上げます。



マイバッグにはスナップを付けず  
に、ボタンで開け閉めしたいと考  
えたので、スナップは練習布に付  
けて、提出しました。